

麻生区区民会議 第3回環境・緑化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年1月13日（木）午後2時00分～4時05分
- 2 開催場所 麻生区役所第5会議室
- 3 出席者 [委員]
天野委員、飯塚委員、梶委員、勝田委員、金光委員、高瀬委員、東川委員、福田委員
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長、飯島

4 傍聴者 1人

5 議事

(1) 調査審議課題について

【説明事項】

- ・事務局から、資料1を用いて第2回環境・緑化部会での委員意見概要について説明

【主な意見】

- ・細かい提案が出されたが、麻生区の環境について、この部会で何を指すのかという大きなテーマがまだ議論されていないのでは。→ 第2回の部会で話したとおり「行政と協働で区民が主体的に取り組むこと」という意向に沿って進めていけば良いのでは。細かいことを考えていってから大きなテーマを考えていく方法もある。
- ・（事務局）区としては「エコのまち麻生の推進」「身近なエコ活動の紹介」をテーマとしている。
- ・家庭から出るCO₂の割合が4割強あり、市内で麻生区が一番高くなっている。麻生区の実態を勉強しないと効果が上がらない。
- ・色々と他人まかせになっているので、みんなで取り組める運動を広げていく必要がある。
- ・各委員とも活動背景があると思うが、1人の区民会議委員として、選ばれた課題に取り組んでいくことが大事である。
- ・資料1をもとに各委員の提案・意見を聞いてから大きなテーマを考えるか検討してはどうか。

【各委員の提案・意見】

- ・「生ごみリサイクルのシステムづくり」について提供資料をもとに説明。「（仮称）麻生区生ごみ活かし隊」プロジェクトの立ち上げを提案したい。その中で、他都市は色々な広報紙を発行しており、麻生区でも広報の充実を検討したい。また、生ごみ堆肥や生ごみ肥料で作った花や野菜の写真コンクールの開催も検討したい。立ち上げ方法としては、第2期区民会議で開催した「地産地消フォーラム」の第2段を開催し、アンケートやメンバー募集を行うことが考えられる。
- ・「環境家計簿を通じたCO₂削減活動」について提供資料をもとに説明。麻生まちづくり市民の会「エコプロジェクト」では、環境家計簿コンテストを開催した。記録をとることで目

に見えて分かるようになり、効果を実感できる。20の町会に出前説明会を行い、次第に浸透してきた。他都市では子どもに対して環境家計簿を宿題としているところもあり、麻生区でも学校に協力をお願いしてやってみてはどうか。川崎市の掲げる「エコの学習」にもなる。

- ・「（仮称）グリーンアップ」について、「ボランティア活動の連携と拠点づくり」を行いたい。具体的には里地・里山の保全を目的とした森林及び農業ボランティアの実践活動の組織づくりをする。県の森林ボランティア制度による緑地管理のように、麻生区で数か所の緑地または農地の手入れをボランティアを募って行いたい。そのための組織づくりをする。

【提案・意見に対する質疑応答など】

- ・テーマをいくつにするのか考えないといけない。
- ・環境家計簿は麻生まちづくり市民の会が実施しており、区民会議がどのように関わっていくのか分からない。→ 麻生まちづくり市民の会の活動は平成24年3月までであり、その後も継続したい取組であるため区民会議で関わっていききたい。
- ・第2期区民会議でもサポートとして環境家計簿に参加していた実績がある。
- ・「（仮称）グリーンアップ」のネットワークづくりは漠然としており、区民会議で行うとすると相当な労力が必要と思われる。
- ・（事務局）「（仮称）グリーンアップ」については、公園の維持管理活動を中心にした公園管理運営協議会等と区民との連携や、緑の保全活動団体等のネットワークづくりが必要ではないかとの意見が出されていた。
- ・区民会議が主導権をもっていかんやれるかを考えないといけない。環境家計簿も確立させるという点では意義があるかもしれない。ネットワークづくりは方向性を決めて、調査を行い、どうしていくかを考える必要がある。
- ・実現性が大事である。例えば農家と市民活動団体のつながり作りは難しいと思う。
- ・市内7区に区民会議が設置されているので、他区の状況も教えて欲しい。
- ・生ごみを回収するのは難しい。各家庭において自分で堆肥にして余ったものをもらう方式をとっている他都市もあるがうまくいっていない。
- ・生ごみの処理などはインフラ整備ができていないことが問題ではないのか。
- ・インフラ整備のような大きなことではなく、身近な取組を広く紹介することが目的である。
- ・黒川にできる明治大学の実験農場との連携を考える必要がある。
- ・色々議論しても実際に区民会議でやるとすると大変である。大きいテーマより細かいほうが分かりやすい。
- ・実施方法や主体を考える必要がある。例えばフォーラムを開催するならばやはり区民会議が主体となる。第2期区民会議では同時にいくつかやるのではなく、1つ1つこなしていった。
- ・次回の部会に向けて、後日事務局が本日提案した委員を中心にして協議を行い、どの程度までできるかなどをまとめたうえで再協議する。

(3) その他

ア 「エコのまち麻生」啓発用パンフレットの校正作業について

- ・平成23年2月2日（水）午後2時から、区役所会議室にて開催（参加可能な委員のみ）

イ 次回の部会開催について

- ・平成23年3月7日（月）午後2時から、区役所会議室にて開催